

令和3年度 船浦中学校 結ぬ海科(海洋教育)評価について



評価の工夫

ESDの視点に立った海洋教育で重視する能力・態度がどのように変容しているかを評価するために、「船中海洋ルーズブリック」を開発した。

能力・態度を①「自分で考える力」 ②「つなげる力」 ③「挑戦する力」 ④「西表について」 ⑤「将来の自分」 についてと評価内容を設定した。生徒は当てはまるか否かを自己採点することにより、教育活動の評価を行う。自己評価した数値は、チャートにまとめ、自分が努力したところ、成長したところを記述するよう指導を行っている。

特に④「西表について」は西表育ちであることに誇りを持ち、島を愛し守っていかうとするアイデンティティそのものであり重要視している項目である。

令和3年度 結ぬ海科アンケート(海洋教育評価)



船浦中学校 海洋教育 ルーブリック

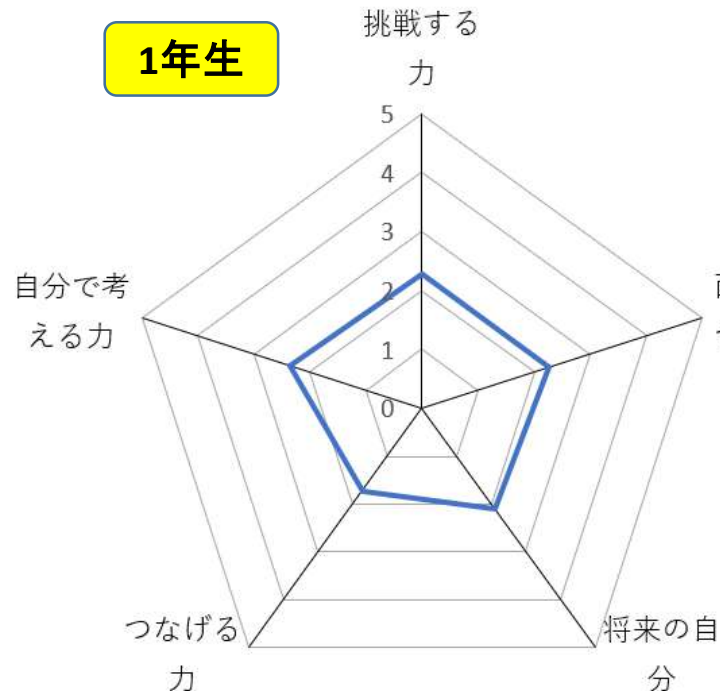
(年) 氏名 ()



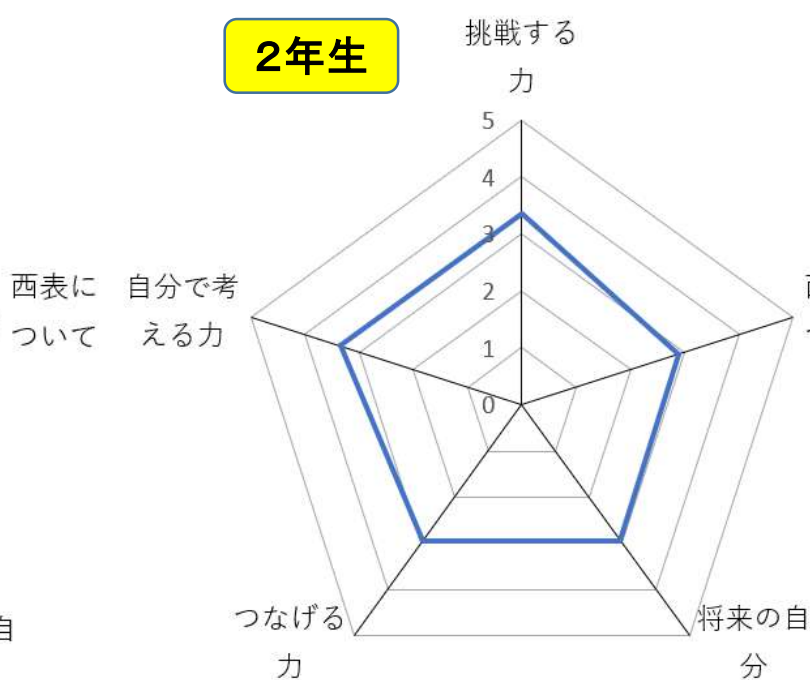
自分で考える力	1	身近な海を見つめ直し、その価値を考えることができる。	西表について	1	西表島に、誇りと愛着を持っている。
	2	なぜ、そのようになっているのか、学習したことや経験を結びつけて、考えることができる。		2	西表島の良さと未来に残したいものを理解している。
	3	他者の考えから、自分の考えを見直したり、広げたりすることができる。		3	西表島の課題について理解している。
	4	課題解決に向けて、1つの方法ではなく、複数の方法を考えることができる。		4	西表島の課題解決の方法を考えることができる。
	5	望ましい未来のために、何をどうするべきか考えることができる。		5	西表島を守っていくための課題解決に向けて行動することができる。
つなげる力	1	友人や地域の方々から学ぶことができる。	将来の自分	1	「結ぬ海科(海洋教育)」で学んだこと、できるようになったことが将来役に立つと思う。
	2	課題解決に向けて、友人や地域の方々とは協力しながら積極的に取り組むことができる。		2	多様性を認め、助け合うことができる。
	3	課題に取り組む中で、自ら発言したり行動することができる。		3	自分の将来を描き、学ぶことや働くことの意義を理解できる。
	4	友人や地域に様々な提案をすることができる。		4	自然や社会、世界のよりよい姿を理解し、その良さを理解している。
	5	よりよい未来のために、日常生活を見直し、積極的に行動することができる。		5	持続可能な社会作りの一員として自覚し、行動することができる。
挑戦する力	1	責任を持って、自分にできることは自分から進んで取り組むことができる。	○どのような場面で、自分はがんばれたか。 ○海洋教育でできるようになりたいこと		
	2	自分の良さを生かして、友人や地域の方々とは協力することができる。			
	3	方法を工夫して自分たちの考えを発信することができる。			
	4	自分たちの生活を未来のことを考えて、見直し行動することができる。			
	5	皆で協力すれば大きなことを成し遂げることができる。			

アンケート(海洋教育評価)

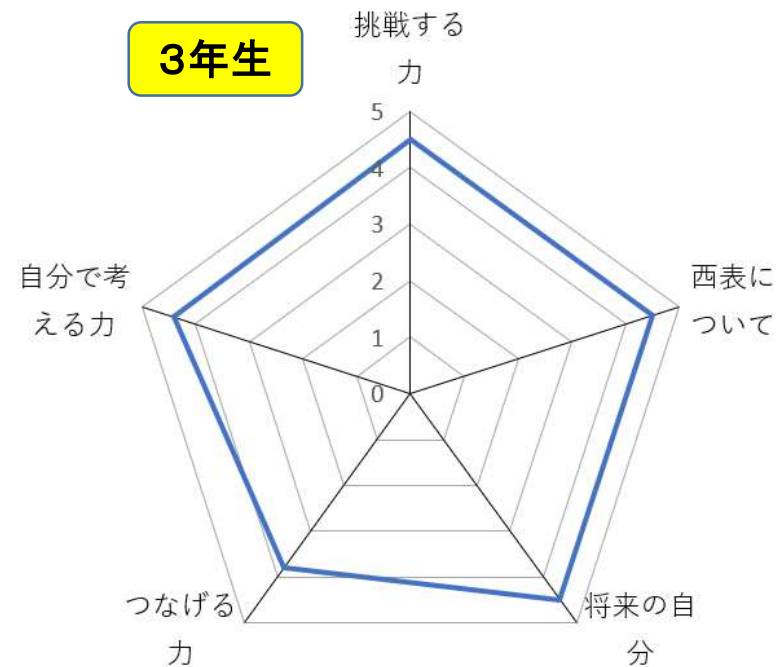
1年生



2年生



3年生



Q 結め海科を通してできるようになったことは何ですか？

みんなと考えることができた

自分たちの生活が海に影響していることに気付いて、海を普通の生活の中で意識するようになった

プラスチックを使うことを減らすことが地球温暖化を軽減させるので、脱プラをどのように進めるのか考えていきたい

海洋に関する学習の積み重ねが、持続可能な社会作りの一員としての自覚、具体的な行動力の育成につながっている。

海洋教育を通して育まれたこと

海洋に関する共通教養（海洋リテラシー）を身につける



サンゴの役割（防波堤、生物多様性を支える、海の環境を支える等）について理解することができた。

海洋教育を通して育まれたこと

好奇心と探究心の向上



自然の摂理や自然現象についての興味関心、探究心の向上がみられた。

海洋教育を通して育まれたこと

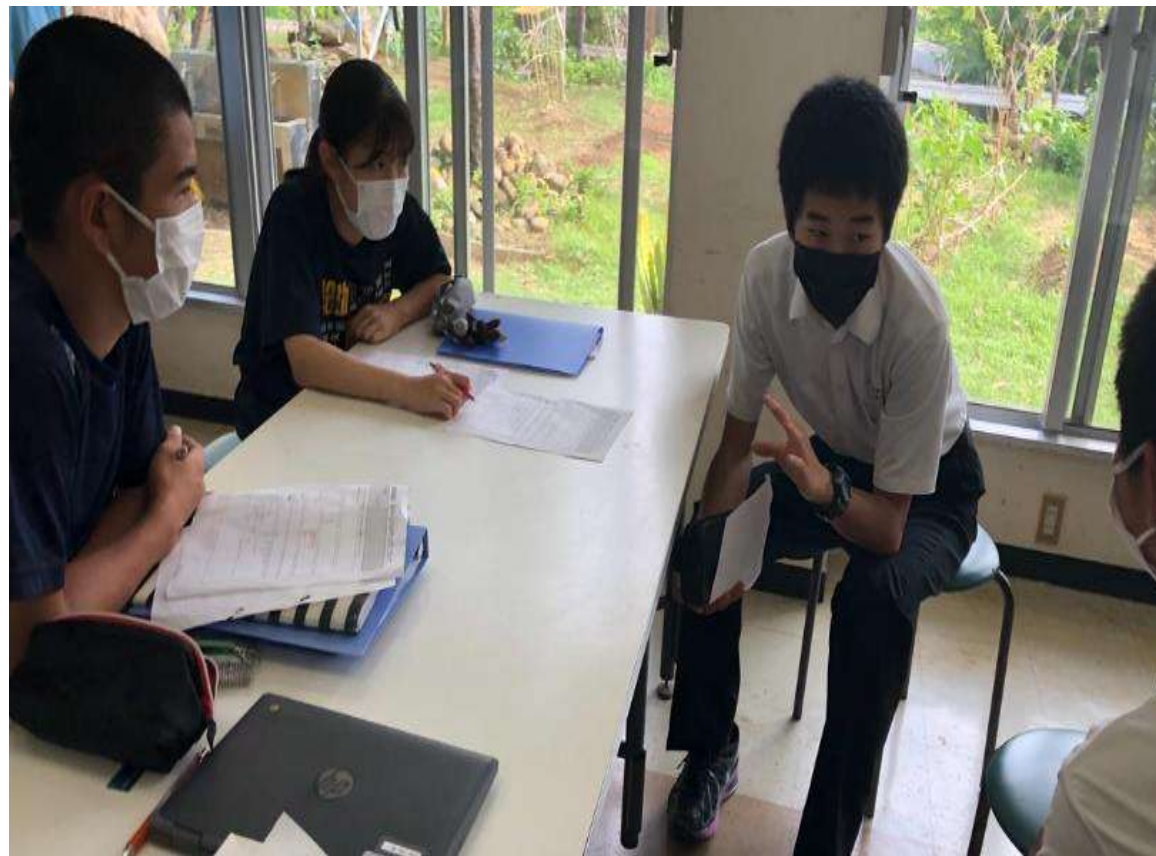
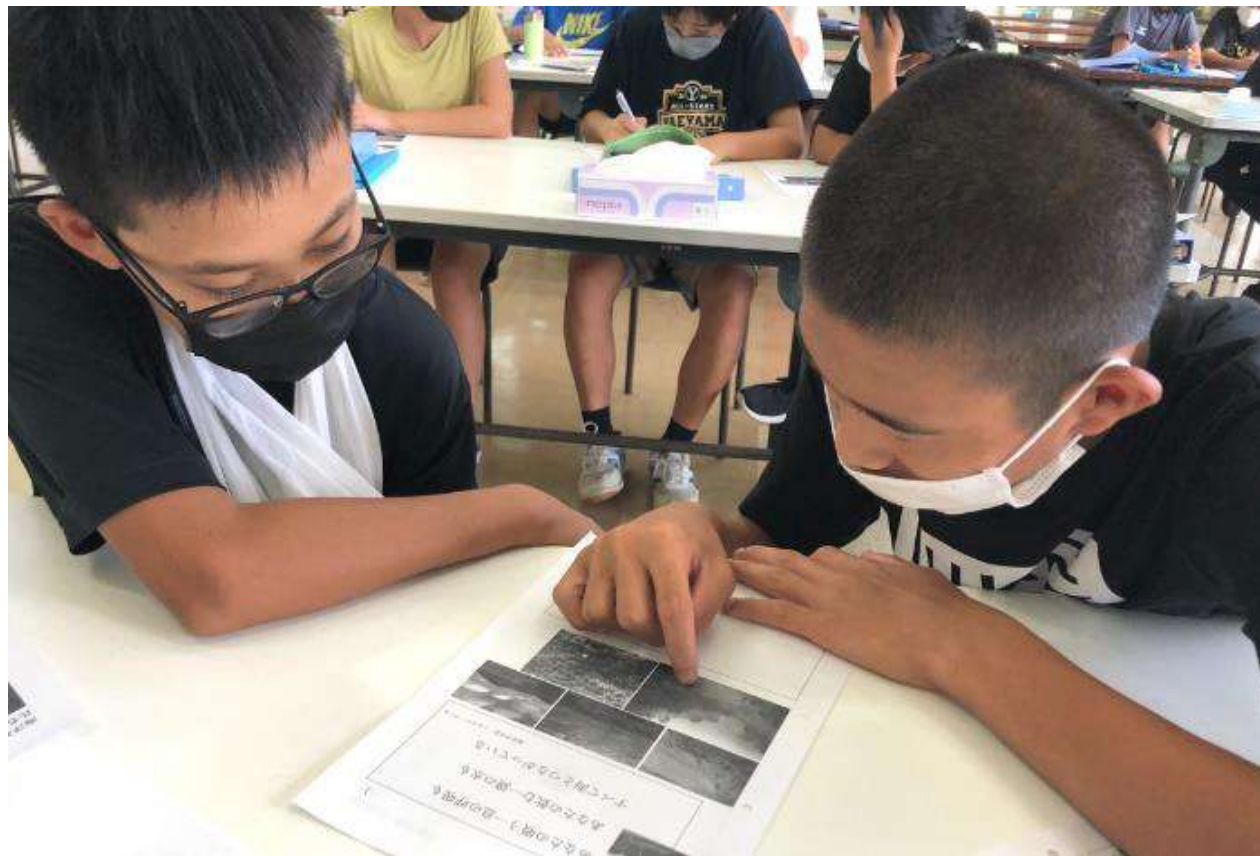
協働的な学習の価値の気づきと自己有用感の高まり



チームで課題に対応することで、自分の意見や考えを安心して出し合うことができた。

海洋教育を通して育まれたこと

自然事象の道理を考える力、説明する力



自然について説明することで必要な言葉の学習や、根拠、仮説など自分の考えを深め、表現しようとする力が身に付いた。

海洋教育を通して育まれたこと

地域の一員としての自覚、海を守るための具体的な行動力



自分たちの海を自分たちの手で守らなければいけない、という海洋に対する当事者意識の涵養につながった。

海洋教育を通して育まれたこと

学びをアウトプットする、表現する、伝える、発信する力



他校や他県との海洋に関する学びを交流する機会を通して自分たちの学びをまとめ、伝える力を身に付けることができた。

海洋教育を通して育まれたこと

表現する、伝える、発信するためのICT活用能力



海洋に関する学びをまとめる場面において、また他校と交流する機会を通して、ICT活用能力を向上させることができた。

成果（生徒たちの声から）

事後学習(振り返り)

できたので良かったです。その中でも一番印象に残ったことは、アカジンを見られた

ことです。いつも釣ってからしか見ないので、海の中の姿はとても新鮮でした。また、魚が魚を食

べているところや、とりあっている場面はなかなか見られない光景だったのでとてもびっくりま

した。またいつかダイビングをやりたいと思いました。

体験で海の中の新しい世界が広がった。

事後学習(振り返り)

してくださり、そのおかげで底までたどりつくことができました。

そして、サンゴや魚を真横や近くから見ることで、新たな海の楽しさを知ることができました。

探究(さらに知りたい)心の向上が見られる。

さまざまな生き物を見ることができたので図鑑やインターネット

などを利用して調べ、頭に入れておきたいです。

事後学習(振り返り)

きたのは、感動的でした。今まで、港とかで見てきた海とは

違う顔の海を見ることができてよかったです。この西表の海

についてたくさんの方に知ってもらいたいと思うと同時に、これからこの美しい

海が一生続いてほしい、と思いました。なので、僕も海についても勉強

したいと思いました。本当にありがとうございました。

海を守るために、海の学びを深めたいという思いが強まった。

事後学習(振り返り)

いっぽいです。体験ダイビングを通して、**将来海関係**
の仕事もしてみたいなと興味を持ちました。

海で働く方々とふれ合い、将来を考えるようになった。
(キャリア教育)

自分達のくらしを見直す(海を守るための行動)

このうつくしい海を壊さないために、レジ袋を使わないことやビーチクリーンを続けてい

くことでこのうつくしい西表の海を守りたいと強く思いました。今回は本当にありがとうございました。

ありがとうございました。

自分達のくらしを見直す機会にすることができた。